

# 第1回松戸市下水道管路施設包括的維持管理業務委託プロポーザル選考委員会

日時：令和3年11月29日（月） 15：00～16：00

場所：松戸市役所 新館 9F 入札室

参加者：森田委員、藤井委員、宇佐美委員

事務局：松戸市建設部下水道維持課

## 議事概要

### (1) 委員長及び副委員長の選任について

- ・満場一致により、委員長は森田委員、副委員長は宇佐美委員とする。

### (2) 公募型プロポーザル実施要領について

- ・優先交渉権者決定までは、委員会の内容は委員であることを含めて非公表とする。
- ・委員であることを知りながら委員との接触を図った業者は失格、実施要領に記載済みである。
- ・住民対応業務とは主に苦情への対応、事故対応業務とは苦情原因の調査や支障の解消を想定している。なお、市民からの窓口は市職員とし、業者で対応可能な内容の業務のみ業者に依頼する。
- ・技術提案のプレゼンについては、説明者は配置予定統括責任者若しくは配置予定主任技術者とし、部外者の同席は認めない。なお、同席する者が関係者であることは事前に確認する。
- ・維持管理計画の見直しは、業務の効率化や清掃頻度、点検頻度の見直し等軽微な見直しを想定しているため、これを受けて本業務の価格が変動することは想定していない。

### (3) 提案評価基準について

- ・コストは数式に基づいて見積金額から定量的に評価、得点化されるものであり、委員による評価は反映されないため、P6 表中の「コスト縮減に努力しているか」という表現は削除する。
- ・提案者が1者のみである場合について、コストだけでなく技術についても重視した評価とするため「評価点が270点以上であれば最優秀提案者とする」を「技術評価点が6割以上あれば最優秀提案者とする」こととする。
- ・提案者が複数の場合にあっても、「技術評価点が6割未満である場合には失格とする」主旨の記載に実施要領P11を修正する。
- ・本業務は、市民生活に密着した業務であるため地域に精通していることを重視して、参加資格に市内業者であることまた市内業者が参入していることを記載している。
- ・受託実績にある同種、類似業務とは、管渠の清掃、調査、内面補修の修繕業務を指す。

- ・地域貢献の提案とは、地元の活性化、地元企業への技術移転、市民への還元を想定している。

(4) 審査結果の公表方法について

- ・委員会の審査結果として、最優秀提案者（優先交渉権者）を特定したことをホームページで公表する。
- ・最終的には市が特定された優先交渉権者と交渉を行い、契約事業者を決定する。

(5) その他

- ・プレゼンの日程については、近日中に決定される議会日程を踏まえて調整する。

以上